

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 18 日

事務事業名		思春期教育事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	010203000341	
		単独/補助				単独			040401	
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進						所属課	健康推進課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名		
	施策名	02 健康づくりの推進						グループ	健康づくり	
	手段名	03 ③母子支援体制の充実						担当者名		
財務会計上の位置付け					事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計				
	01	04	01	01		03	00	母子衛生事業		
法令根拠	母子保健法					単年度繰返し (昭和25年度~)				
						期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入				

〔Do〕 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	<p>①事務事業の概要 (事務事業の全体像)</p> <p>桜川市内の小中学生に心身の発達や性に関する正しい知識と命の尊さを学ぶとともに、性行動に伴う危険 (リスク) について正しく理解し、若年層の望まない妊娠や出産を予防する。</p> <p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容の検討、資料作成、日程調整 学校との事前打合せ、表現方法等の確認 必要物品の事前準備 当日の運営 実績まとめ

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 内容の検討、資料作成、日程調整 学校との事前打合せ、表現方法等の確認 必要物品の事前準備 当日の運営 実績まとめ 	思春期教育の実施回数	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
桜川市内の小中学生	桜川市内の義務教育学校・小中学校	校	14.00	13.00	13.00	13.00	13.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
思春期にある子どもが、自分がかげがえのない大切な存在であることを認識することにより、自分や他者をも大切にし、性の自己決定能力を高める。	思春期教育の実施人数	人	0.00	0.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業内訳	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量		
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)			
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0				
事業費計 (A)	千円	0	0	0					
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人					

03年度事業費 実績 (千円)

04年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
		合計		0			合計	0

事務事業名	思春期教育事業	事務事業No.	10203000341	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
H25年度児童虐待防止対策緊急強化事業の一環として、市内の小中学校の養護教諭と共に事業を進めていった。市と一緒に事業をするのは、学校側も数年なかったので外部講師が入ることで、学習内容の幅が広がり伝えられることが増えた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
養護教諭より、継続して市と連携してやっていきたいと要望があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	生徒自身が自分を大切にできる自己肯定感を持つことで、大人になり困難な事が生じても強く前向きに生きていくことが出来る。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	学校と市が連携することで、よりよい性教育の充実が図れる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	実施方法や内容を見直すことで、向上の余地がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	命の大切さを普及できる機会がなくなる可能性がある。
改革改善を行う	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
	講師を依頼し実施している学校もあり、見直す余地はある。
改革改善を行う	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である
市内の小中学校で実施しており、公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																											
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	R2・3年度は、感染症対策として事業は休止した。思春期教育は、この事務事業以外にも各小中学校で取り組みがあることから、類似事業について整理し廃止も検討する余地あり。																											
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 市内義務教育学校、小中学校に実施状況や実施内容を確認する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○																										
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(6) 事務事業優先度評価結果		(7) 成果優先度評価結果																											
		⑦																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>